

【目標値の達成状況】

**目標値 (30 年 3 月末)**  
※計画期間を 29 年 3 月末から 30 年 3 月末に延長

- 1 製造業の付加価値額 2.5 兆円の達成  
※従業者 4 人以上の事業所(従業者 29 人以下の事業所は粗付加価値額で算出)
- 2 有効求人倍率 1.0 倍以上の達成
- 3 工場立地件数 240 件 (6 年間累計) の達成  
※敷地面積 1,000㎡以上(県内企業の県内での工場立地を含む)



**29 年 3 月末現在の状況**

- 1 22 年 2.23 兆円 → 26 年 1.96 兆円
- 2 23 年平均 0.72 倍 → 28 年平均 1.41 倍
- 3 214 件 (5 年間 (24~28 年) 累計)  
※214 件の内訳: 24 年 37 件、25 年 45 件、26 年 70 件、27 年 26 件、28 年 36 件 (速報値)

【重点プロジェクトの取組状況】

I 国際的産学官連携による次世代リーディング産業の創出支援

- 1 国際的産学官連携体制の構築  
24 年 4 月から長野県テクノ財団に「イノベーション推進本部」を配置し、機能強化
- 2 28 年度の実績  
各分野(メディカル分野、ナノテク・材料分野)の国際展示会への出展支援や海外の連携協定先との技術交流支援等
- 3 主な成果
  - ・研究開発プロジェクトの企画・運営支援件数 11 件
  - ・製品化支援件数 6 件

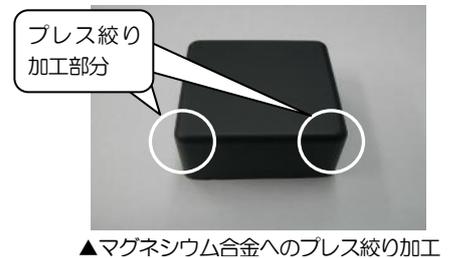


29 年度の主な取組

- 長野県テクノ財団の産学官連携活動支援 研究開発プロジェクトの企画・運営支援目標件数 11 件
- 長野県テクノ財団の研究開発支援体制の整備 コーディネート活動目標件数 3,000 件

II 研究開発型企业への転換支援

- 1 研究開発型企业育成事業の実施
  - (1) 事業概要  
県内の下請型・受託加工型企业の提案型・研究開発型への転換を支援するため、工業技術総合センターの「次世代産業技術開発推進本部」を拠点として、県内企業との研究会・共同研究を実施
  - (2) 28 年度の実績
    - ・軽量高信頼性部品生産ロボティクス研究会等の研究会活動 10 研究会
    - ・参加企業延数 170 社 ・共同研究実施数 8 テーマ
  - (3) 主な成果
    - ・IoT 技術を適用した内水排水ポンプ監視システムの構築
    - ・マグネシウム合金のプレス加工技術の開発
- 2 提案型・研究開発型地域産業育成事業の実施
  - (1) 事業概要  
地域の企業グループが、工業技術総合センター及び地方事務所と連携して、下請型・受託加工型から提案型・研究開発型への転換を図るための事業に要する経費に対し、補助金を交付して支援
  - (2) 28 年度の実績
    - ・地域の企業グループによる事業実施件数 4 件
  - (3) 主な成果
    - ・介護現場からのニーズに基づいた、新たな介護機器等の試作開発・改良等



29 年度の主な取組

- 研究開発型企业の育成支援 研究会目標件数 5 研究会
- 提案型・研究開発型地域産業の育成支援 地域の企業グループによる事業実施目標件数 2 件

### Ⅲ 地域資源を活用した高付加価値産業の集積

#### 1 地域資源製品開発支援センター事業の実施

##### (1)実施概要

中小企業や商工会議所等、県内の幅広い事業者から寄せられる地域資源を活用した製品開発に関する相談に応じ、企画段階から商品化まで一貫支援

##### (2)28年度の実績

相談件数 989件、支援件数 91件、商品化に至った数 30件

##### (3)主な成果

- ・「飯山仏壇新STYLE」の開発等



▲現代生活ニーズに沿った新しい仏壇

#### 2 地域産業活性化基金事業の実施

##### (1)実施概要

本県の歴史や風土に根ざした、技術等の有望な産業資源を活用した、企業や支援機関が行う開発事業の経費、独自技術等を持つ中小企業を地域の中核企業に成長させるための新商品開発等の取組に要する経費の一部を助成

##### (2)28年度の実績

助成件数 32件、助成額 8,364万2千円

##### (3)主な成果

- ・固相拡散接合を実現する新接合技術の開発と事業化等



▲地域資源を活用した製品の銀座NAGANOにおけるテスト販売

#### 29年度の主な取組

- 地域資源活用型製品の開発に関する相談対応や商品化まで一貫した支援 商品化目標件数 35件
- 地域産業活性化基金の運用益の活用により、地域の優れた資源、技術を活かした商品開発等の促進

### Ⅳ ICT（情報通信技術）産業の振興

#### 1 ときどき&おためしナガノ

##### (1)実施概要

首都圏を中心とした都市圏からの地方への移住を考えているIT人材等に対して住居、オフィス、仕事等を提供することで最長6か月間のトライアル移住を支援

##### (2)28年度の実績 移住支援 11件



▲ときどき&おためしナガノ

#### 2 オープンハッカソン支援事業

##### (1)実施概要

IT人材が企業の枠を越えてチームを組んで「産業と地域が抱える諸課題」等をテーマとした実践型のワークショップである「ハッカソン」の開催を支援し、県内IT産業人材を発掘、育成

##### (2)28年度の実績 開催支援件数 3件

#### 3 ICT産業等立地助成金

##### (1)実施概要

長野県内にICT産業等の事業所を新設して事業を行う企業に対して、その費用の一部を助成

##### (2)28年度の実績 交付決定件数 1件、新規雇用予定者数 14名

#### 29年度の主な取組

- ときどき&おためしナガノによるIT人材等のトライアル移住支援 目標移住支援件数 12件
- オープンハッカソン支援事業による県内IT産業人材の発掘、育成 目標参加者満足度 70%
- ICT産業等の立地を促進し、県内雇用の創出及び地域経済を活性化

### Ⅴ 中核的な企業の育成

#### 1 地域中小企業育成プロジェクト事業の実施

長野県中小企業振興センターに専任コーディネーターを配置し、地域産業を牽引する中小企業の育成を図るため、関係機関や専門家等によるプロジェクトチームにより、企業の新事業展開等を集中的に支援するとともに、県地域産業活性化基金事業等を活用して試作開発を促進し、事業化を支援

#### 2 28年度の実績 新規プロジェクト採択件数8件

#### 3 主な成果 ・次世代通信式活動量計の開発と事業拡大



▲腕時計型活動量計



マウス等の体内に埋め込み、薬の効能を運動量で観察できる商品も完成

#### 29年度の主な取組

- 大学や公設試験場及び中小企業支援機関など各分野の専門家で構成するプロジェクトチームにより、県内中小製造業の新事業展開等を集中的に支援（概ね3年間） 新規プロジェクト採択件数 8件

## VI 創業サポートの強化

### 1 創業支援事業の実施

「ながの創業サポートオフィス」に創業・ベンチャー推進員を3名配置し、あらゆる業種の相談助言をワンストップで実施するとともに、相談内容に応じて専門家を派遣し、助言を実施

### 2 28年度の実績

- ・「ながの創業サポートオフィス」相談延件数 509件
- ・学生、女性、社会人、移住者向けの各種創業セミナーや創業塾等を開催

### 3 主な成果

- ・「ながの創業サポートオフィス」の支援による創業件数 25件



▲信州ベンチャーサミット2017

参加者数 1,123名

### 29年度の主な取組

- 創業の加速化を図るため、県内の創業者、金融機関、企業、大学等の関係機関によるプラットフォームを設立し、創業施策の体系化を図るとともに関係機関相互の連携を強化
- 創業セミナーや創業支援モデル事業等を実施し、創業予備軍の掘り起こしや創業意欲を向上
- 県内小中高生の創業への関心を高め、将来のキャリア選択の幅を広めるとともに、未来の信州の創業者増加につなげるため、学校の授業において、創業体験プログラムを実施
- 信州ベンチャーコンテスト等を通じ、創業予備軍の掘り起こしを行うとともに、創業窓口で創業に悩みを持つ事業者へ相談・助言等を行うことで創業意欲を高め、多様な創業スタイルを応援

## VII 次世代産業集積の強化推進

### 1 産業誘致体制の強化

- ・県外事務所誘致担当職員等による継続的な企業訪問 延べ3,195件（28年度実績）等

### 2 優遇制度の拡充

- ・信州ものづくり産業応援投資条例による不動産取得税の課税免除の対象期間を3年間延長（27～29年度） 5件、7,420万9千円（28年度実績）等

### 3 企業立地促進法の活用

- ・立地計画等の承認 企業立地計画 32件、事業高度化計画 11件 等

### 4 本社・研究所等の誘致推進

- ・県税の不均一課税の実施（不動産取得税、事業税を95%減税） 等

### 5 28年度の実績 企業立地件数 36件（内研究所1件）



▲平成28年度長野県魅力発信立地セミナー

### 29年度の主な取組

- 成長期待分野等に狙いを定めた企業訪問、県外展示会を活用した情報発信の強化、長野県魅力発信立地セミナーの開催（知事によるトップセールスの実施）、地方創生の一環として国・県等の優遇制度を活用した本社機能の移転等促進、産学官金連携による誘致活動の展開
- 年間企業誘致目標件数 40件、本社等移転・拡充目標認定件数 7件

## VIII 中小企業が取り組む国際展開の支援

### 1 グローバル展開NAGANOパワーアップ推進事業の実施

(1)工業製品の海外展示会（タイ、ベトナム、インドネシア、メキシコ）への出展支援

出展企業数 17社（商談件数 391件）

(2)「国際版」技術提案商談会（タイ、中国）の開催

出展企業数 20社（商談件数 54件）

### 2 国内外の展示商談会への出展支援（出展料助成）

助成企業数 51社（商談件数 957件）

### 3 中小企業外国特許等出願支援

支援企業数 14社

### 4 地域ものづくり産業国際展開推進事業の実施

諏訪圏工業メッセに対する支援

※件数等は28年度の実績



▲Entech Pollutec Asia  
（環境・エネルギー展示会、  
タイ・バンコク）の商談風景

### 29年度の主な取組

- 海外で開催される展示商談会等への出展支援（グローバル展開推進員による相談対応、出展経費の助成） 海外における商談目標件数 194件
- 外国特許庁への特許等の出願支援（国の補助制度を活用し、費用助成）
- 地域ものづくり産業国際展開推進事業の実施

## IX 国内におけるビジネスマッチング（販路開拓）の強化

### 1 国内販路開拓強化事業の実施

#### (1) 技術提案型商談会

- ・ 県内企業からなる技術提案キャラバン隊を編成し、自動車や医療機器関連の大手メーカー、一次サプライヤー（部品メーカー等）企業を訪問して、開発担当役員等との商談を支援

開催回数 12回、参加企業数 延べ166社（商談件数 776件）

#### (2) 展示商談会

- ・ 首都圏、中京圏で「ながの微細・精密加工技術展」を開催  
参加企業数 延べ131社（商談件数 1,567件）
- ・ 成長期待分野（医療機器）や専門分野（精密加工）の展示会に長野県コーナーを設置して、県内企業の特色技術及び自社製品をPRし、新規取引先の開拓を支援  
参加企業数 延べ42社（商談件数 433件）

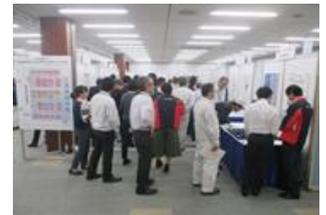
#### (3) マーケティングスキル向上セミナー

- ・ 展示商談会などで活用できる効果的なマーケティング力を身につけるため、中小製造業を対象としたセミナーを開催  
開催回数 8回（参加者 延べ438名）

### 2 受発注取引推進事業の実施

県内に5名、県外に3名の推進員を配置し、県内ものづくり企業と関東圏・中京圏・関西圏企業等とのマッチングを推進  
下請取引あっせん件数 1,295件

※件数等は28年度の実績



▲技術提案型商談会

### 29年度の主な取組

- 展示会への出展支援による商談機会の提供、マーケティング力の強化等を通じて、国内の大手メーカー等とのビジネスマッチングを促進  
商談目標件数 3,110件
- 発注開拓を進め、取引あっせんを促進  
下請取引あっせん目標件数 1,200件

## X 高度技能人材の育成、キャリア形成の支援

### 1 長野県南信工科短期大学の開校

- ・ 高度な技能・技術を持った人材を県内全域に継続的に輩出するため、長野県工科短期大学（上田市）に加え、新たに設置（南箕輪村）
- ・ 第1期生として、上伊那地域の高校生を中心に「機械・生産技術科」20名、「電気・制御技術科」20名が入学（28年4月）

### 2 産業人材カレッジ（スキルアップ講座）による人材育成

実施講座数（目標200コース） 239コース、受講者数 2,197名

### 3 信州ものづくり未来塾事業

開催講座数（目標80講座） 86講座、参加生徒数 1,659名

### 4 技能五輪全国大会・アビリンピックの実績

- ・ 第54回技能五輪全国大会  
参加選手 23職種 49名  
入賞者数 計17名（全国第8位）
- ・ 第36回アビリンピック  
参加選手 10職種 10名  
入賞者数 計4名（全国第3位）

### 5 国事業（「若年技能者人材育成支援等事業」）との連携



▲長野県南信工科短期大学

### 29年度の主な取組

- 工科短期大学や技術専門学校において、ものづくり分野を中心とした基礎的な技能から高度な技能・技術等を習得するための職業訓練を実施
- 産業人材カレッジ（スキルアップ講座）事業（計画講座数 220コース、定員 2,285名）
- 信州ものづくり未来塾事業（開催講座数 85講座）
- 産業人材育成支援ネットワークの充実、強化

## XI U・Iターンの戦略的な実施

### 1 信州シューカツ応援プロジェクト事業

#### (1) 事業概要

「信州でインターンシップ応援補助金」を創設し、県外大学等の学生の県内企業におけるインターンシップ参加費用を助成等

#### (2) 28年度の実績

- ・「信州でインターンシップ応援補助金」交付対象者 延べ250名

### 2 U・Iターン助成金交付事業

#### (1) 事業概要

「しあわせ信州U・Iターン就業補助金」により、県内企業が、専門的な能力や経験を有する人材を県外から受け入れる際の人件費等を助成し、県内への専門人材の還流を支援

#### (2) 28年度の実績

- ・「しあわせ信州U・Iターン就業補助金」交付対象者 58名

### 3 移住・交流推進事業の実施

#### (1) 事業概要

移住者や交流人口を増やし、地域の活力を創出するため、市町村や民間団体との連携により、大都市圏での魅力発信、県内の移住者受入体制の充実にに向けた取組を実施

#### (2) 28年度の実績

- ・U・Iターン就職者数 99人

### 4 成果事例

- ・県主催イベント参加学生の内、県内企業に就職した割合 60.4% (29年3月卒)
- ・U・Iターン就職累計実績 U・Iターン就職326人



▲「信州でインターンシップ応援補助金」チラシ (イメージ)

#### 29年度の主な取組

- ポータルサイト「シューカツ NAGANO」(29年3月末開設) による、県内企業情報・就職情報等の提供 県主催イベント参加学生の内、県内企業に就職した目標割合 70.0% (30年3月卒)
- 移住者や二地域居住者を増やし、地域の活力を創出するため、大都市圏での魅力発信、県内への移住者等の受入体制充実にに向けた取組を実施 行政サポートによる目標移住者数 1,000人 等

## XII 女性や高齢者など潜在的な労働力を十分に活用できるシステムの構築

### 1 多様な働き方普及促進事業

#### (1) 事業概要

多様な勤務制度の導入や非正規社員の処遇向上などに取り組む企業を「職場いきいきアドバンスカンパニー」として認証し、ホームページ、テレビCM、合同企業説明会等で企業担当者や求職者へ情報発信等

#### (2) 28年度の実績

- ・目標訪問企業数 8,898社 等

### 2 はたらく女性応援プロジェクト事業

#### (1) 事業概要

子育て等により離職した女性の再就職を支援するため、身近な地域へ出向いて行う就業相談や託児付きインターンシップ等を実施等

#### (2) 28年度の実績

- ・インターンシップ利用者数 165人 等

### 3 人生二毛作社会推進事業

#### (1) 事業概要

長野県長寿社会開発センターに配置する「シニア活動推進コーディネーター」を3名から6名に増員(本部・上小・諏訪・飯伊・松本・長野)し、各圏域におけるネットワーク会議の開催等を通じて関係機関の連携等を図るとともに、タウンミーティングの開催等を通じてシニアの社会参加に係るマッチングを支援

#### (2) 28年度の実績

- ・タウンミーティング開催 12回(県内10圏域) 等

### 4 成果事例

- ・多様な働き方制度導入企業数 208社 ・アドバンス認証企業数 56社
- ・子育て期女性の再就職者数 408人(内インターンシップ利用者 82人、就職率 49.7%)
- ・シニアの地域企業への採用件数 8件



▲「職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度」の認証マーク



▲シニア人材と地域企業との交流会

#### 29年度の主な取組

- 企業に対する多様な勤務制度の導入や従業員の処遇改善を働きかけ、制度導入に当たっての専門家派遣やアドバンス認証取得に向けた支援を実施 アドバンス認証目標企業数 200社(31年度)
- インターンシップ企業開拓員を増員し、子育て中の女性の再就職支援を強化するとともに、現在就業中の女性の就業継続支援のため、業務スキル向上のためのセミナーを開催 目標就職者数 300人 等
- 「シニア活動推進コーディネーター」(6名)が、県・市町村・地域とシニアを結び付け、就労や移住者、子ども支援などの取組を普及・発展させ、「地方創生」に資する各分野の取組を加速